

家族会要望事項まとまる

県当局と県下全ての市町村に要望書提出へ

家族会では、行政に対する要望案件の調査を行ってきました。この都度そうした要望案件を整理し、会員からの意見集約を行い事務局でまとめ(下記案件)、徳島県知事をはじめ県下全ての市町村長に要望書の提出と懇談の申し入れを7月22日から市町村長への訪問活動を行ってきました。各市町村長との懇談は8月～9月中めどに行う予定です。

要望事項はつぎの内容です。

要 望 事 項

- 一、障がい者手帳は現在の3区分化(身体障がい、精神障がい、療育手帳)を一本化することを要望します。
 - 1)障がい者手帳発給の一本化が創設されるまで、高次脳機能障がい者に対して脳障がい者手帳の新設を要望します。
 - 2)高次脳機能障がいの障がい認定基準を策定し、障がいに見合った年金(助成)制度を要望します。
 - 3)高次脳機能障がい者に対する生活援助(障がい年金)の充実を要望します。
- 二、高次脳機能障がい者への支援をどのように行っているかを明らかにし、合わせて、今後の支援対策を明らかにして頂きたい。
 - 1)現行の障がい者支援事業において、高次脳機能障がい者が利用可能な支援事業の具体的な内容説明をお願いします。
 - 2)具体的には、高次脳機能障がい介護の実態に見合った支援、助成(減免、公共料金、就学、住宅、介護用品、通行料金、)の大幅な改善を要望します。
 - 3)高次脳機能障がい者を対象とした公的な就労訓練場所を整備して、社会復帰 対策の充実を要望します。
 - 4)高次脳機能障がい者が経済的に自立できる就労場所の確保を要望します。高次脳機能障がい者の自立援助支援として(習字、絵画、写真、料理、写経、パソコン等)できる施設指導者の配置を要望します。
- 三、4月に施行された障がい者差別解消法の理念に基づき、率先して差別の解消を推進することを要望します。
 - 1)高次脳機能障がい者を抱える家族の所得に関係なく、障害の実態にあった支援を要望します。
 - 2)高次脳機能障がい者のショウスティの受け入れ態勢の充実を要望します。
 - 3)高次脳機能障がい者に対する災害等緊急時の連絡手段として、 아이폰、アイパット等通信手段に対する援助を要望します。
 - 4)高次脳機能障がい者を中心に障がい者雇用優良事業所、優秀就労障がい者の表彰と合わせて、積極的に障がい者の就労支援、援助等差別の解消に努めている個人・団体に対してその功績を認める手立てを講じることを要望します。
- 四、高次脳機能障がいの理解を深めるための事業策定を要望します。
 - 1)高次脳機能障がいの理解を深めるため、医療関係者、福祉担当者の講習会等 啓蒙を要望します。
 - 2)高次脳機能障がいに精通した専門職員の窓口配置を要望します。
 - 3)高次脳機能障がいのリーフレットの活用をより強めることを要望します。
 - 4)高次脳機能障がいの治療可能な医療施設の整備を要望します。
 - 5)高次脳機能障がいについて、医学的な研究を積極的に進めていくことを要望します。
 - 6)高次脳機能障がい者へのリハビリ(医療、就労)在宅指導を受けられることを要望します。

以 上